

2019年度 声楽「歌唱表現特別研究」
第20回 林 美智子 特任准教授

1. 日 時 : 2019年12月16日(月)17時00分～18時30分
2. 場 所 : K号館 603教室
3. 対象学生【必修】 : 大学院声楽研究室 1・2年生
大学専攻科声楽専攻生
大学「オペラ特別研究BⅡ」・「歌曲特別研究BⅡ」受講生

他聴講学内のみ可

4. 講 師 紹 介 : 林 美智子 特任准教授

裏面参照

5. 講 義 概 要 :

永田 雅子(大専)

R. Leoncavallo 作曲 "Lasciati amar"

深田 真琳(大専)

W. A. Mozart 作曲 「Ascanio in Alba」 "Dal tuo gentil sembiante"

吉本 朱里(大専)

W. A. Mozart 作曲 「Le nozze di Figaro」 "Non so piu cosa son"

林 美智子

埼玉県出身。東京音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科、二期会オペラスタジオ、新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンへ留学。

アテネで開催された「国際ミロプーロス 声楽コンクール2003」で最高位入賞、アテネ五輪の文化事業の一環として05年10月アテネのヘロド・アティクス野外劇場で上演されたオペラ『エウメニデス』（世界初演/演奏会形式）に復讐の女神コルフィ役で出演。第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。

2002年、新国立劇場『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼルでデビュー。二期会創立50周年記念『フィガロの結婚』（宮本亜門演出）ケルビーノで好評を博し、続く2003年二期会・ケルン市立歌劇場共同制作『ばらの騎士』オクタヴィアンでは名演出家G. クレーマーより絶賛された。同年日生劇場ベルク『ルル』（3幕版/日本初演）でも存在感を示し、以降も二期会『ドン・ジョヴァンニ』（宮本亜門演出）ツェルリーナ、佐渡裕指揮『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル等で活躍。2006年には東京二期会『皇帝テイトの慈悲』にセスト役で出演、ヨーロッパの歌劇場から依頼が殺到する名演出家ペーター・コンヴィチュニーの意図を見事に具現化した演唱で公演を成功に導いた。2007年には新国立劇場小劇場『フラ・ディアヴォロ』、アンエミリオ・サージ演出『運命の力』、アンドレアス・ホモキ演出『フィガロの結婚』ケルビーノでの活躍、日生劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』では舞台を牽引するロメオ役が話題となった。2008年びわ湖ホール/神奈川県民ホール『ばらの騎士』オクタヴィアン、新国立劇場『椿姫』フローラ等でも聴衆を魅了。09年6、7月には兵庫県立芸術文化センター、東京二期会、愛知県立文化振興事業団の共同制作による佐渡裕指揮『カルメン』タイトル・ロールで出演し新たなカルメン像を創り絶賛を浴び、その模様はNHKでも放映された。2012年11月、日生劇場開場50周年・読売日本交響楽団50周年・二期会創立60周年『メディア』（アルベルト・ライマン台本・作曲 日本初演）クレオサでも好評を博し、2013年2月、東京二期会オペラ劇場『こうもり』（新制作）オルロフスキーに出演。2013年7月には兵庫県立芸術文化センター、佐渡裕指揮『セヴィリアの理髪師』（新制作）ロジーナに出演。2013年9月あいちトリエンナーレ2013『蝶々夫人』（新制作）スズキに出演。

主要オーケストラとも多数共演し、2005年秋山和慶指揮/九響「アルト・ラブソディ」、2006年都響/マーラー「交響曲第4番」（広上淳一指揮）、ドイツ・カンマーフィル「第九」（P. ヤルヴィ指揮）、名フィル/マーラー「復活」（M. アツモン指揮）、2007年東響/ヴェルディ「レクイエム」、東フィル「第九」（チョン・ミョンフン指揮）、東フィル/ベルク「初期の7つの歌」（若杉弘指揮）などその活躍ぶりは目覚ましい。2006年林美智子自身を想定して書かれた林望作詞・野平一郎作曲による「演劇的組歌曲『悲歌集』」も好評で翌年の再演も大成功を収め、2007年チョン・ミョンフン指揮『イドメネオ』イダマンテも高い評価を得た。

リサイタル活動においても求心力あるプログラムで自ら作詞し、野平一郎氏に作曲を委嘱した「夜～La Nuit～」を演奏するなど意欲的な取り組みを行っている。メディアにも数多く登場し、「NHKニューイヤーパーコンサート」にも2005年より10年連続出演。「オフィス設計」のCMにも起用された。2008年より読売交響楽団の年末『第九』コンサートにアルト・ソロとして連続出演中。

2006年のファースト・アルバム「赤と黒」（Victor）に続き、2008年武満徹の「SONGS」全曲（+MI・YO・TA）を収めたCD「地球はマルイゼ～武満徹：SONGS～」（レコード芸術10月号（2008）新譜月評にて特選盤）をリリース。CDリリース記念リサイタル「林美智子 SINGS武満徹SONGS」も反響を呼んだ。

2010年10月、二期会ゴールドデンコンサートでは、R. シュトラウスの歌曲を披露するなど、活躍を続けている。2012年2月22日には、パリの世紀末～20世紀初期までのエスプリに満ちた「ベル・エポック期」の歌曲を集めた〈ベル・エクサントリック～林 美智子ベル・エポック歌曲集～Belle Excentrique〉をリリース。サティ、プーランク、ラヴェル、そして同時期のフランスを中心に活動した作曲家達のユニークで独自の世界が評判を呼んでいる。（品番：DDCB-13021）